

(第1回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 6 年 7 月 1 日
契 約 業 者 名	(株) 加賀田組 東京支店
契 約 業 者 の 住 所	新宿区中里町 2 9 - 3
工 事 の 名 称	R 5 東関道小泉南地区改良他その 2 工事
工 事 場 所	茨城県潮来市小泉南地先
工 事 種 別	一般土木工事
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	工事請負契約書第 6 2 条の規定に基づく令和 6 年 4 月より適用する 「土木工事工事費積算要領及び基準の運用」等による変更
工 期 (自)	令和 6 年 4 月 2 日
工 期 (至)	令和 7 年 3 月 3 1 日
変 更 前 の 契 約 金 額	3 9 1 , 0 5 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 4 , 2 1 3 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	3 9 5 , 2 6 3 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	工事請負契約書第 6 2 条の規定に基づく令和 6 年 4 月より適用する 「土木工事工事費積算要領及び基準の運用」等による変更

(第2回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 6 年 9 月 2 7 日
契 約 業 者 名	(株) 加賀田組 東京支店
契 約 業 者 の 住 所	新宿区中里町 2 9 - 3
工 事 の 名 称	R 5 東関道小泉南地区改良他その 2 工事
工 事 場 所	茨城県潮来市小泉南地先
工 事 種 別	一般土木工事
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	共通仮設費 ICT の活用及びBIM/CIM 適用に基づき、3 次元起工測量・3 次元設計データの 作成費用 (ICT)、3 次元出来形管理・3 次元データ納品等の費用及びBIM/CIM モデル作成費 事業損失防止施設費
工 期 (自)	令和 6 年 4 月 2 日
工 期 (至)	令和 7 年 3 月 3 1 日
変 更 前 の 契 約 金 額	3 9 5 , 2 6 3 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 3 2 , 5 6 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	4 2 7 , 8 2 3 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	共通仮設費 ICT の活用及びBIM/CIM 適用に基づき、3 次元起工測量・3 次元設計データの 作成費用 (ICT)、3 次元出来形管理・3 次元データ納品等の費用及びBIM/CIM モデル作成費を追加する。また、現地調査の結果、施工箇所に家屋が近接して いるため、事業損失防止施設費を追加する。

（第3回） 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 3 月 2 5 日
契 約 業 者 名	(株) 加賀田組 東京支店
契 約 業 者 の 住 所	新宿区中里町 2 9 - 3
工 事 の 名 称	R 5 東関道小泉南地区改良他その 2 工事
工 事 場 所	茨城県潮来市小泉南地先
工 事 種 別	一般土木工事
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	1. 道路土工 2. 擁壁工 3. 歩道橋工 4. 仮設工 5. 共通仮設費
工 期 (自)	令和 6 年 4 月 2 日
工 期 (至)	令和 7 年 3 月 3 1 日
変 更 前 の 契 約 金 額	4 2 7, 8 2 3, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 4 6, 4 2 0, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	4 7 4, 2 4 3, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	1. 道路土工 現地調査の結果、現況地盤高に差異があったため、路体盛土工、路体盛土工(ICT)については数量精査(減)し、掘削工は数量精査(増)する。土砂は工区外のストックヤードからの運搬を見込んでいたが、場内仮置土の利用に変更し、また他工事からの建設発生土の受け入れのための残土処理工を追加する。 2. 擁壁工 現地調査の結果、掘削土の土砂区分が軟岩に相当し大型ブレーカ併用の施工方法に見直しが生じたことから作業土工を増工する。また、帯鋼補強土壁・アッカー補強土壁工を数量精査(増)する。 3. 歩道橋工 場所打杭工は、ケーシングの引き抜きの際に地山の崩れ等によりコンクリートの形がいびつになり出来形計測が実施出来ないため、杭頭処理工を追加する。また、桁架設工事まで1年以上の期間が空いてしまうことから杭頭鉄筋の土中部での変形防止や防錆対策を行う必要があるため、杭頭養生工を追加する。 4. 仮設工 現地調査の結果、補強土壁施工のための斜路の整備が必要になったことから工事用道路土工を増工する。他工事からの建設発生土の受け入れのための敷鉄板及びダンプカー用泥落装置が必要になったことから土砂仮置場整備工を追加する。また、近隣住民からの要望により、路体盛土及び土砂運搬に伴う砂埃対策として散水を行う必要が生じたことから、防塵対策工を追加する。 5. 共通仮設費 土砂仮置場整備工の追加に伴い、仮設材運搬が必要となったことから運搬費を増工する。補強土壁の施工に先立ち、改良地盤の地盤支持力を確認するため、地質調査費(平板載荷試験費)を追加する。 諸経費動向調査及び施工状況モニタリング調査の対象工事となったことから諸経費動向調査費等を追加する。また営繕費に快適トイレを追加する。